



# 令和7年度 山梨県立富士河口湖高等学校 第4回学校運営協議会

日 時：令和8年2月12日（木）15:30～17:00  
場 所：山梨県立富士河口湖高等学校 小会議室

## （1） 第4回学校運営協議会次第

（司会 教頭）

- ① 開会の言葉（司会）
- ② 校長あいさつ
- ③ 会長あいさつ
- ④ 議事（議長 会長）
  1. 生徒指導の状況について（生徒指導主任）
  2. 生徒支援体制について（保健環境主任）
  3. P T A・同窓会について（総務主任）
  4. 令和7年度学校評価について（教頭）
  5. 令和8年度学校運営基本方針について（校長）
  6. その他
- ⑤ 連絡・報告事項
  1. 総合的な探究の時間について
  2. 学校評価における関係者評価について
  3. その他
- ⑥ 学校運営協議会委員より
- ⑦ 閉会の言葉（司会）

# 令和7年度第4回学校運営協議会会議録

令和8年2月12日(木)15:30~17:00

於：小会議室

## ① 開会の言葉（教頭）

## ② 校長あいさつ

## ③ 会長あいさつ

## ④ 議事（議長 小石川会長）

### 1. 生徒指導の状況について

**生徒指導副主任より説明** 今年度は交通事故が数件発生し、自転車点検や警察による交通安全講話を実施しました。警察署による防犯・薬物乱用防止講話、スマートフォンのトラブル防止のための外部講師による注意喚起を実施しました。いじめ調査は記名式で年3回行っており、1・2回目の報告には対応済みで、第3回は本日の締切後に確認します。

**（委員A）** 通学路で生徒が車から見えにくく危険に感じる場面があります。全生徒が共通でリフレクターや反射材を身につけられれば、視認性が高まり交通事故防止に効果があると感じています。

→学校指定のウィンドブレーカーに反射材を付けていますが、登下校時に別の上着を着用している生徒が多く、十分に機能しておりません。

**（委員B）** いじめ調査だけでは把握できない SNS や LINE でのいじめ・悪口・不適切投稿の問題が社会的に増えており、デジタル空間でのトラブルへの学校対応が懸念されます。学校として組織的な対策が必要ではないでしょうか。

→学校では、携帯・スマホの適切な使い方について外部講師による教室を実施し、SNS での誹謗中傷やいじめ行為をしないよう指導しています。現在、本校で SNS を原因とする深刻ないじめの報告はありませんが、将来的なリスクを踏まえ、来年度以降も指導を強化する必要があると認識しています。

**（委員C）** SNS やスマホ利用が原因で、子どもたちが知らないうちにさまざまな情報に触れ、問題行動やリスクに巻き込まれるケースが増えている。そのため、学校としては防犯教室や啓発活動を通して正しい知識を伝える一方、子ども自身がスマホの使い方や課題を主体的に考える力も育てたい。大人の指導だけでなく、生徒会などと連携しながら、生徒の自助努力も促すことが重要だと感じている。

→承認

### 2. 生徒支援体制について

**保健環境主任より説明** 今年度は、保健環境系の教員2名と非常勤の教育相談員が、生徒の怪我・病気だけでなく、学習や生活面の困難にも対応してきました。生徒支援は、生徒一人ひとりの困難に応じた丁寧な関わりと信頼関係が重要で、よりよい学校生活と卒業後の自立につながるため、学校全体で取り組んでいます。また、「相談することは悪いことではない」「一人で抱え込まず助けを求めてほしい」と伝え、教育相談を利用しやすい雰囲気づくりを進めていく方針です。

**（委員D）** 教育相談員が学校専属なのか、また SC とはどのように役割が異なるのかを知りたい。

→教育相談員の先生は、長く学校現場で勤務されてきた方で、地域や生徒の実態に詳しいため、生徒にとっても親しみやすい存在です。一方、SC は県から派遣される専門職で、プロとしての視点を持つ

ていますが、生徒個々の背景や地域事情をすぐに理解するのは難しい場合があります。そのため本校では、まず教育相談員が生徒の状況を把握し、その上で専門的支援が必要と判断されれば、SCにつながるという段階的な対応を取っています。

**(委員 E)** 診断の有無に関わらず、生徒の状況に合わせて進路や支援を考えることが重要であり、情緒面の課題があれば違和感なく学校の中で支援につながられていると感じている。また、座席配置のように特性に応じて環境調整を行っている点など、その全てに対応するのは容易ではないものの、学校が丁寧に取り組んでいることは大きな強みであると思う。

→承認

### 3. PTA・同窓会について

**総務主任より説明** PTAとしての取り組みはPTA総会とフードドライブ活動が中心です。先ほど生徒指導から説明のあった登校時のマナーアップ運動も行っています。PTAは任意団体であります。本校では毎年全保護者が入会しております。

同窓会活動については、卒業時に入会確認を行い、規約に基づき毎年7月に総会を開催しています。また、同窓会は在校生への記念品贈呈や、学校バス利用のための資金援助など、学校支援の活動も継続しています。

**(委員 F)** PTA会費、フードドライブについての質問

→会費は入学時だけでなく毎年、学校徴収金として納める仕組みです。その会費からPTA活動費やPTA職員の人件費が支出されています。フードドライブは山梨のNPO法人が企業や地域から食料を集め、生活が苦しい家庭や子ども食堂などに届ける活動です。特に夏休みなど給食がない時期には支援の重要性が高まるため、生徒から寄付物資を集め、地域の協力団体を通じて支援を行っています。

→承認

### 4. 学校評価について

**教頭より説明** 1月に生徒・保護者・教員向けアンケートを実施しました。結果を受け、年度末の自己評価では重点目標ごとに達成状況を整理しました。

**(委員 G)** 部活動の負担軽減について、特に外部指導者の活用状況についての質問。

→中学校では専門家に報酬を支払う制度が動き始めていますが、高校ではまだ制度として確立しておらず、外部指導者はボランティアとして教員を補助する形で関わっています。

**(委員 H)** 保護者アンケートだけ「分からない」という選択肢がある点についての質問。

→「分からない」の項目は保護者からの要望で追加された経緯があります。割合が高い場合は学校が情報発信を強化すべき指標として考えています。

→承認

### 5. 令和8年度学校運営基本方針について

**校長より説明** スクールミッションは県の定める内容で変更はありません。スクールポリシーも数年前に職員間で議論して作成したため、今年度からの変更は行っていません。重点目標は7年度と大きくは変えていませんが、県の教育振興基本計画との紐付けが求められたため、キャリア教育に関する文言を追加し、一部表現も修正しています。また、新たに進路指導の個別対応を強調する項目を追加しました。

→承認

## ⑤ 連絡事項

### 1. 総合的な探究の時間について

### 2. 学校評価における関係者評価について

## ⑥ 学校運営協議会委員より

(委員 I) 中学としても高校との連携はとても大事だと感じており、今日の話から学んだことを自校の経営にも生かしていきたいと思います。今の生徒指導は SNS やスマホが中心で、家庭で起こる問題への学校の対応には難しさがあり、保護者への理解や啓発も欠かせないと強く感じています。今後も中高で連携しながら、より良い指導の形を一緒に考え、取り組んでいきたいと思っています。

(委員 J) 本日の会に参加し、多くを学ばせていただきましたし、学校経営を先生方が中心になって議論されている姿を間近で感じることができ、大変刺激を受けました。また、地域に根ざした取組や、この学校ならではの学びを大切にしている点にも深く共感し、自分自身の実践にも生かしていきたいと感じました。

(委員 K) 一年間の取り組みを通して、先生方が多様化する課題に真摯に向き合っている姿に大きな学びと刺激をいただきました。OBとして、ここが国際観光地ならではの特色ある学校づくりをさらに進め、在校生・卒業生が誇れる学校であってほしいと強く感じています。

(委員 L) 私たち卒業生も学校と一緒に盛り上げていきたいと思っています。一つの河高ブランドみたいなものができて、この学校が続いていってくれることが一番嬉しいということを感じました。

(委員 M) 最近、受験の状況を見るたびに、この地域は高校の選択肢が少なく、その中で「ここで3年間学びたい」と思ってもらえる学校づくりが大事だと感じています。他と比べてじゃなくて、河高にこれがあるから行きたいんだ、学びたいんだみたいなのがあったらどうかなと少し思っていました。

(委員 N) なんとかこの地域の強みをもっと生かせないかと常々思っていて、今日お聞きした先生方の取組からも、全職員で共有して動いている姿に感心させられました。教員数も子どもの数も減る中で、逆境を逆手に取るように、密な連携や専門性を生かした支え合いが、今の学校経営には不可欠だと思います。俳句大会での生徒の受賞のように、小さな成果の積み重ねが学校のブランドにもつながり、在校生・卒業生にとって大きな誇りになると改めて感じました。こうした積み上げを大切にしながら、中学校や地域の方々の意見も汲み取り、学校全体がさらに活性化していくことを期待しています。50周年に向かう節目でもありますし、これからも地域とともに学校の力を伸ばしていけたらと思っています。

## ⑦ 閉会の言葉 (教頭)